保存版

鰺ヶ沢町 内水ハザードマップ

想定条件：想定最大規模降雨
1時間で150mmの降雨

【留意事項】
この内水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨（1時間で150mmの降雨）に伴う内水浸水の状況をシミュレーションにより予測して作成したものです。なお、シミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、河川の氾濫等を考慮していませんので、この内水浸水想定区域に指定されていない区域においても、浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。

発行／鰺ヶ沢町建設水道課
〒038-2792　青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地
TEL 0173-72-2111　FAX 0173-72-2374

令和7年3月

既往水害に関する情報

過去の被害から学ぶ

令和4年8月9日、停滞した前線の影響で、町内における24時間総雨量が観測史上最大の202.5ミリを記録しました（中村上流観測所では、最大24時間総雨量369ミリを記録）。この大雨により、舞戸地区を中心に約200haが浸水し、住家・非住家を含めて580棟が浸水被害を受けました。また、鰺ヶ沢・赤石・鳴沢・中村地区でも、土砂崩れや法面の崩壊などが複数箇所で発生し、赤石渓流線が寸断したほか、農地の冠水、土砂堆積や水利施設の破損などの甚大な被害が確認されました。

舞戸地区下富田の様子 ▲
（8月9日17時頃撮影））

舞戸橋付近 ▼
（令和4年8月9日17時30分頃撮影）

浸水被害状況（件数）	住　家	（うち店舗併用）	事業所など	空　家	非住家
全壊（床上1.8m以上の浸水）	0	(0)		0	
大規模半壊（床上1m以上1.8m未満の浸水）	11	(3)		1	
中規模半壊（床上0.5m以上1m未満の浸水）	96	(14)		6	
半壊（床上0.5m未満の浸水）	193	(25)		4	
準半壊に至らない（床下浸水）	64	(5)		4	
被害棟数	364	(47)	62	15	139
無被害棟数	66	(7)	9	0	2
判定不能家	0	(0)	0	3	0
総計	430	(54)	71	18	141

【用語説明】

外水氾濫 河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破壊するなどして堤防から水があふれ出ること。

内水氾濫 河川の水位の上昇や流域内の多量の降雨など（要因によって浸水型とか氾濫型等の表現も用いる）により、河川外における住宅地などの排水が困難となり浸水すること。

全壊 住家がその居住のための基本的機能を喪失したもの。すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもの。

大規模半壊 居住する住宅が半壊し、構造耐力上主要な部分の補修を含む大規模な補修をしなければ居住宅に居住することが困難なもの。

中規模半壊 居住する住宅が半壊し、居室の壁、床又は天井のいずれかの室内に面する部分の過半の補修を含む相当規模の補修を行わなければ当該住宅に居住することが困難なもの。

半壊 住家がその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの、すなわち、住家の損傷が甚だしいが、補修すれば元通りに再使用できる程度のもの。

準半壊に至らない 住家が浸水していないもの。

（災害庁ホームページより）

災害に備えた心構え

避難時の心得

避難に備えた準備

自分がいる場所にはどのような危険があるのか、ハザードマップなどを使って確認しましょう。

普段から非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
避難するときの荷物は、ひとつにまとめておきましょう。

最新の情報を収集

テレビ、ラジオ、携帯電話、防災行政用無線などから、最新の気象情報、災害情報、避難情報を収集しましょう。

速やかな避難

役場、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。呼びかけがあった場合や、危険を感じたときは、速やかに避難しましょう。

危険な場所に近づかない

水があふれている川や水路は、危険ですので絶対に近づかないでください。

動きやすい服装

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

足下に注意

水面下の側溝や水路、マンホールに足を取られないよう、安全を確認しながら歩きましょう。

助けが必要な方には協力を

災害時、周りには自力ですぐに避難できない人がいます。
隣近所と声を掛け合い、助け合いの気持ちを大切にしましょう。

無理はしない

避難が遅れた時は、無理に外に出ず、近くの丈夫な建物の2階以上に移動しましょう。

非常時持ち出し・備蓄品リスト

防災の備え

- ▶ 避難の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるリュックサックが便利です。
- ▶ 家族の誰もがすぐ持ち出せるように、わかりやすい場所に保管しましょう。
- ▶ 普段利用している食品、日用品を少し多めに備蓄し、古いものから消費して買い足すローリングストックがおすすめです。

非常時持ち出し品（例）

- □ 非常食（カンパン、缶詰など）　□ 飲料水
- □ 携帯ラジオ（予備の電池）
- □ 懐中電灯（予備の電池・電球）　□ ろうそく
- □ ヘルメット（防災ずきん）
- □ 炊事用品（鍋、やかん、包丁、缶切り等）
- □ ナイフ、缶切り、栓抜き
- □ ティッシュ、トイレットペーパー
- □ タオル
- □ ビニール袋
- □ 食器（箸、スプーン、皿、紙コップ等）
- □ 衣類　□ 雨具　□ 軍手
- □ 救急医薬品
  （キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など）
- □ 常備薬　□ おくすり手帳
- □ 貴重品（預貯金通帳、印鑑など）、現金
- □ 健康保険証、住民票
- □ 子供用品　□ 生理用品
- □ 運動靴
- □ マスク、アルコール消毒液、ウェットティッシュ
- □ スマホ、充電器

非常時用備蓄品（例）

- □ 食品
  （缶詰、レトルト食品、ドライフードや栄養補助食品など）
- □ 食品
  （調味料、スープ、みそ汁など）
- □ 食品
  （チョコレート、のどあめ、梅干など）
- □ 水（1人当たり1日3ℓ）
- □ 燃料（卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど）
- □ 毛布、タオルケット、寝袋など
- □ 洗面用具（歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど）
- □ ポリタンク、バケツ

情報の入手・安否確認

情報は待つだけでなく、積極的に取るようにしましょう

鰺ヶ沢町 公式HP 防災情報（Pull プル型）
鰺ヶ沢町の各種防災マップや避難場所等の防災情報を確認する事ができます。

鰺ヶ沢町 公式LINEアカウント（Pull プル型）
災害時の防災情報、町のイベント情報や行政情報など、町民の皆様にお知らせしたい情報を配信！

緊急速報メール（Push プッシュ型）
緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、地方公共団体が発信する災害・避難情報などを受信することができます。
（スマホの設定を「ON」にする事が必要です）

あおもり防災ポータル（Pull プル型）
防災情報、避難情報などが閲覧できます。

鰺ヶ沢町 防災情報（気象庁）（Pull プル型）
気象庁が提供する発表中の防災情報、雨雲の動き、天気予報、アメダス、地震情報などが閲覧できます。

災害用伝言ダイヤル（171）・災害用伝言板（web171）

171 災害用伝言ダイヤル
電話で安否情報を確認する「声の伝言板」
171 にダイヤル → 音声ガイダンス → 録音は 1 / 再生は 2 → 音声ガイダンス → 被災地の方の固定電話（市外局番から）及び携帯電話・IP電話の番号をダイヤルしてください。0173-　-　 → 音声ガイダンス → ガイダンスに従い録音（再生）

web171 災害用伝言板
インターネットで安否情報を確認する「web伝言板」
https://www.web171.jp/ へアクセス または「web171」で検索 → 伝言を登録する 被災地の方などの電話番号を入力 → ガイダンスに従い登録／確認

※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。

避難情報の種類と避難行動

水害時に役立つ情報・心得を知りましょう

大雨時には、気象庁をはじめ様々な機関から防災情報が発表・発令されます。

雨の降り方によっては、必ずしも下記の防災情報が順番通りに発表・発令されるとは限りません。
また、警報等が発表されたことに伴い、直ちに避難情報が発令されるわけではありません。

避難は「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が大原則です！

1時間の雨量と降り方

雨量	少ない → 多い				
1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80m～
雨の強さ降り方	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨

行動の目安

情報収集	気象情報の収集 雨の継続中は、地盤のゆるみに注意	予報・注意報などに注意	避難に関する情報に注意
自助 自分でできる予防措置	河川や水路など注意を要する箇所に近づかない	土のうなどの準備や低地部の車の移動	初期の浸水応、地下空間から退避 / 避難の準備 状況に応じ、速やかな避難
共助 地域防災への取組など	状況により自主防災組織の活動への協力	状況により要配慮者への支援に協力	

避難情報の種類と取るべき行動

警戒レベル	低い → 警戒レベル → 高い				
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
住民がとるべき行動	最新情報に注意しましょう	ハザードマップ等で避難方法を確認しましょう	危険な場所から高齢者などは避難しましょう	危険な場所から全員避難しましょう	命を守る最善の行動をしましょう
避難情報等	早期注意情報	大雨注意報・洪水注意報	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告・避難指示（緊急）	災害発生情報

情報を正しく理解し、取るべき行動に結びつけることで、危険から身を守りましょう。

町民の皆さんの取るべき行動（避難行動の目安）

重大な災害が発生するおそれがある場合には避難情報が発令されますが発令がない状況でも危険を感じたら自主的な避難を開始する。

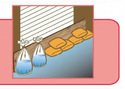
平常時に、内水浸水が起こった際の行動について家族で確認し、当マップで浸水が想定される区域と浸水の深さを確認しておきましょう。

▼

- □ 今いる場所が浸水想定区域である。（着色されている。）

▼

- □ 土のう準備
- □ 車の移動
- □ 避難の準備



避難行動の目安

- □ 浸水深50cm未満
- □ 浸水深50cm以上
  - □ 建物が二階建て以上の場合 → 垂直避難
  - □ 建物が平家の場合 → 水平避難

垂直避難
- □ 建物内の高いところや上の階に移動しましょう。

水平避難
- □ 避難場所など安全な場所へ移動しましょう。

洪水に至る場合があるため、河川の水位情報に注意し、鰺ヶ沢町防災マップを参照して備えましょう。

※本マップの浸水想定は目安であるため、状況に応じて適切な避難の判断をお願いします。

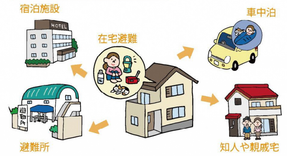
垂直避難は自宅や近くの丈夫な建物の2階以上へ避難することです。

水平避難は浸水の可能性がない避難場所や親戚・知人宅、職場等へ避難を行う事です。災害発生前に行動することが原則です。

立退き避難（水平避難）

※避難行動は「水平避難」が最も望ましいが内水ハザードマップにより屋内での安全を確保できるか等を確認した上で自らの判断により「垂直避難」を行うことも可能です。

事前に決める避難場所の例



安全対策・避難時の注意点

浸水被害から家屋を守る

土のう・止水板

出入り口に長めの板や土のう（水のう）を組合せて設置することで浸水を防ぎます。

家庭にあるものを使って浸水被害を防ぐことができます

- ポリタンクとレジャーシートを組合せて浸水を防ぎます。
- 水のうと段ボール箱、レジャーシートを組合せて浸水を防ぎます。
- プランターとレジャーシートを組合せて浸水を防ぎます。

雨水ます・側溝の清掃

雨水ますの取水口付近や側溝にごみや落ち葉が詰まっていると浸水や道路冠水の原因となります。日頃から清掃をしましょう。

意外なところから浸水が発生します

水のうで水の逆流を軽減

トイレやお風呂などから逆流した水が溢れる場合があります。水のうで栓をすることで防ぐことができます。

大雨時に注意が必要な場所

川・水路の近く

柵のない水路では増水すると道路と水路の境界が分からず誤って流される危険があります。近づかないようにしましょう。

マンホール・側溝のふた

大雨時にはマンホールや側溝のふたが外れていることがあります。長めの棒などで安全を確認しながら避難をしましょう。

立退き避難・屋内安全確保

立退き避難（水平避難）

指定避難所
- 自ら携行するもの
  - マスク
  - 消毒液
  - 体温計
  - スリッパ　等

安全な親戚・知人宅
- 普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

安全なホテル・旅館
- 通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

浸水や家屋倒壊等のおそれがある場所から、安全な場所に移動することです。
ハザードマップ等で安全な場所かどうかを確認しましょう。

屋内安全確保（垂直避難）

3つの条件を満たしている場合

普段から十分な備蓄を行い、建物の安全性を確認して災害に備えましょう。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。
②浸水深より居室は高い。
③水が引くまでの間、十分な水・食料などの備えがある。

家屋の倒壊をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早めの立退き避難が必要です

氾濫流

堤防の決壊や氾濫流により木造家屋の倒壊のおそれがあります。

河岸侵食

河岸が削られて家屋が崩落するおそれがあります。